



紙面から

特集	市長新春対談.....	1~3
お知らせ	平成22年度採用日野市職員募集.....	3
催し	大成荘・日野山荘の ゴールデンウィーク期間申し込み.....	6
催し	日野市消防団出初式.....	8
催し	祝 日野駅開業120周年記念行事.....	8

市長新春対談

公民協働

早稲田大学大学院教授
田勢康弘氏を迎えて

～まちの将来を見据えて～



明けまして
おめでと〜うございませう

皆さま、希望を胸に新年をお迎えのことと思います。今年の市長新春対談には、早稲田大学大学院教授・田勢康弘氏をお迎えし、これからの行政のあり方、将来の展望などを語り合っていました。(文中敬称略) (市長公室広報担当)

地域主権へ切り替える
大きな転機

市長 新年明けましておめでとうございます。
田勢 おめでと〜うございませう。
市長 田勢さんは、私の高校時代の同級生で、日本経済新聞記者を経て、現在、早稲田大学大

学院の教授をしていらっしゃる。田勢さんには、日ごろ、政治評論やマスコミを通じ将来の方

向づけなど、適切な御示唆をいただいています。今回は、最悪の不況の中、

権が大きく変わり、今後どのような方向で行政を進めていくべきか御指導いただきたいと思

います。私は、いつも全国を旅していますが、最近、とみに感じる事は基礎自治体の衰弱です。そ

ろそろ限界にきていると思

います。日本は、国のお金は川上から川下、すなわち国から地方自治

体へ流れてくる仕組みになっています。それですべてが成り立

っていて、どんな地方からも、みなが中央・東京を見ています。交通網を例にとつても、東京

に行くのに便利なことばかり考

えています。その結果、私の故郷・東北の場合、青森から山形

に短時間では行きようがないのです。九州から四国も同じ。一度羽田を経由して行く、これが一番早い。こういうゆがんだ国土になつてしまつた。今回の政権交代は、疲弊切

えなかつた。ところが、政権交代で、それが揺らいでくる。例えば、昨年のダムの問題にしてもそう。

今後、国と地方は、お互い一定の距離をとつていくことになるでしょう。今までのような固く結びついた関係はもつあり得ないと思

います。そうすると、徐々に、「国の権限などを地方に移して欲しい」、そんな声が上がってくると思

います。そういう点では、地域主権、地方が力を持つ千載一遇のチャンスではないかと思

います。ふるさとすら愛せない人間に国を愛することは出来ない

市長 私も、昨年の政権交代は、明治維新以来の激変になつたと感じて

います。日野市の場合、東京にあり、企業もあり、資産をお持ちの方

もいて、この変化に何とか対応出来ると思

いますが、全国的に見れば、成り立たないところも出てくる。特にこの不況、通常ならば乗り越えられるところがうまくいかな

らなつてきています。日野市も将来までは見通せない状況です。

東京は、合併には否定的な市長が非常に多いのですが、そういう状況になれば、合併などの話が出てくるのではと危惧して

います。そのあたりは、どう思われますか。
田勢 日野市は、小さな県の庁所在地ぐら

ふだん着でCO₂をへらそう～宣言世帯15,020世帯(12月1日現在)